

会長メッセージ

令和2年10月28日

公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会

会長 井戸 敏三

会長 松本 正義

東京2020オリンピック・パラリンピックの延期決定以降本日まで、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着くことを前提に、ワールドマスターズゲームズ2021関西は、予定通り2021年5月開催の可能性を模索してまいりました。

【これまでの検討経緯】

多くのスポーツ大会が中止になる中で、アスリートやスポーツ愛好家の方々から本大会の開催に期待が寄せられました。私どもとしてもこうした期待に応えたく、厳しい感染状況の下で予定通り開催できる条件を、専門家も交えて検討した結果、万全の新型コロナウイルス感染症対策や入国規制の緩和といった2条件を満たすことで、競技の実施は可能ではないかと判断しました。

【2021年5月開催の課題】

しかしながら、この2条件の実現に向けたハードルはまだまだ高く、現時点では運営できる体制を整えられるかどうかは見極められない。また、たとえこの体制が整えられたとしても、参加者の皆さまに厳しい制約を課すことになる可能性があり、ワールドマスターズゲームズの理念である、①スポーツ愛好家が世界中から集まり、生涯スポーツを楽しむこと②参加者どうし、参加者と地元住民が交流を楽しむこと③参加者が家族や友人とともに、ツーリズムを楽しむことと乖離する恐れがありました。

【延期の決定】

以上のことから開催自治体や、共催団体、競技団体、協賛企業、そして国際マスターズゲームズ協会(IMGA)と慎重な議論を重ねました。結果として、10月28日にワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会理事会を開催し、開催時期として最も適切と考える時期への延期の方針を決定しました。11月4日のIMGA(国際マスターズゲームズ協会)総会で提案することとしました。

【今後に向けて】

エントリーいただいた14,000名以上の方々にはご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、何よりも本大会に参加される皆さまに十分に配慮した対応ができるよう、必要事項を早急に決定し、速やかに発表いたします。また、これまで懸命に準備に取り組んでいただいた開催自治体、競技団体、協賛企業の皆さまにもご迷惑をおかけすることになりますが、共に連携して諸課題の解決に全力を注いでまいりたいと思います。

今後は、世界中のスポーツ愛好家の期待に応え、大会のレガシーを生涯スポーツの普及へとつなげていく「する」スポーツの祭典の成功をめざし、関係者一同、全力を尽くす所存です。

参加予定者へのメッセージ

令和2年10月28日

ワールドマスターズゲームズ2021 関西への参加をめざすみなさまへ

公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021 関西組織委員会

当組織委員会会長のメッセージでお伝えしましたとおり、本大会の開催時期として最も適切と考える時期への延期の方針を決定いたしました。この間、本大会への参加を予定されているみなさまに大変不安な思いを抱かせることになったことを深くお詫び申し上げます。延期に伴う諸課題に対しまして早急に取り組み、できるかぎり早い時期に決定事項をお知らせしてまいります。

【延期による大会開催概要】

- 大会名称：ワールドマスターズゲームズ2021 関西（現行のまま）
- 実施競技：35 競技 59 種目
- 目標人数：5 万人（国内 3 万人、国外 2 万人）

【大会へのエントリー】

競技別実施要項（開催場所、日時、年齢区分）については、早急に検討して公表し、再エントリーを開始します。

既エントリー者のお出場枠は確保し、ウェイティングリストに登録されている方は、登録していただいている状況を継続します。

【ボランティア】

既にボランティアに申し込んでいる方の登録を引き続き有効として、ご協力をお願いします。また、新規に申込される方の受付を当面の間継続します。

【宿泊および特別体験プラン】

当大会ホームページで案内している宿泊サイトおよび特別体験プランの予約は一旦停止します。予約を行った方はご自身でキャンセルしていただきますようお願いいたします。

予約の再開については、大会の再エントリー開始に合わせてご案内いたします。

新たなエントリーへの対応、宿泊サイトおよび特別体験プランにおける対応については、内容が決まり次第お知らせします。

その他の重要事項等については決定次第、速やかに公表してまいります。

ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。